

2019年 11月 18日

各位

会社名 株式会社 トレードワークス
代表者名 代表取締役社長 浅見 勝弘
(コード：3997 東証 J A S D A Q)

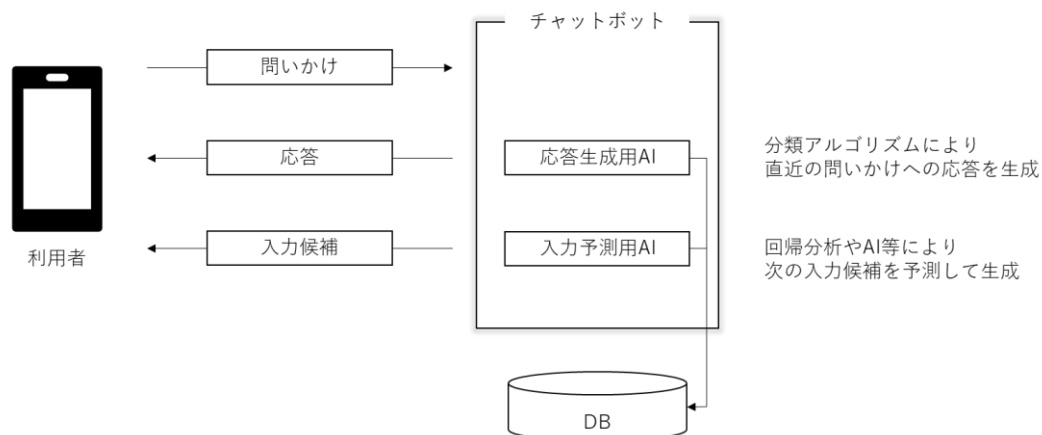
AIチャットボットサービス「スマート法律相談」システム提供のお知らせ

金融システム開発サービスを展開する株式会社トレードワークス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 浅見 勝弘、以下「トレードワークス」）とリーガルテックベンチャーの株式会社リーガル・テクノロジーズ（本社：東京都千代田区、代表取締役 勝部 泰之、以下「リーガル・テクノロジーズ」）は、2019年6月よりAI・データ解析事業に関する共同事業として、法律相談・弁護士検索を自動化するAIチャットボットサービスに関する開発・実証実験を行ってまいりましたが、この度、当社における実証実験の結果を踏まえ、2019年11月18日（月）より法律相談AIチャットボットサービス「スマート法律相談」の提供を開始いたします。

本サービスの開発に伴い、トレードワークスは、単語の共起性によって会話の応答を決定する従来のAIチャットボットの短所を克服し、複雑な話題であっても自然な会話を実現するための技術開発を行い、本年10月23日に関連する特許の査定¹を受けました（特願 2019-181656）。

本特許は、複数の異なるAIアルゴリズムを併用し、文脈に即したスムーズな会話を実現するAIチャットボットを構築するための基本的な構成を内容とするものです。

特許の概要

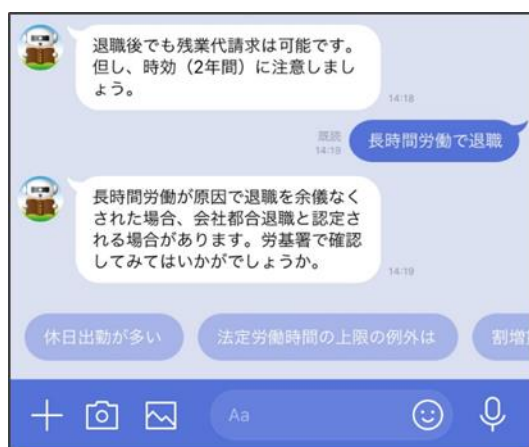


¹「特許査定」：特許庁により、特許権を得るに値すると判断された場合に与えられる審査結果で、特許査定に関する謄本の受領後に特許料を納付する事により、特許権が発生します。

トレードワークスは、「スマート法律相談」への人工知能関連の技術提供に加え、本システムに係る AI 技術を用いて、新たなサービス開発を進めてまいります。

■「スマート法律相談」について

スマート法律相談



利用イメージ

従来、弁護士に依頼するためには、法律事務所の検索、法律相談の実施、見積もりの提示といったプロセスを経ることが一般的でしたが、これらの各プロセスに無駄があり、法律問題のスムーズな解決の妨げとなっておりました。

本サービスは、AI 技術を用いることで一連のプロセスを効率化し、法的サービスの更なる利便性向上を目的とするものです。

また、「スマート法律相談」は、インターネット上から収集した国内の弁護士情報 23438

件（検索可能件数で国内最大規模）から、案件ごとに対応可能な弁護士を検索するデータベースと連動しております。これにより、従来敷居が高いとされた、弁護士の検索、法律相談、事件の依頼がスムーズに進むことになり、リーガルサービスになじみのない一般顧客層に対して高い利便性を提供することが可能です。

【利用方法】



「スマート法律相談」は LINE 株式会社が提供するコミュニケーションアプリ「LINE (ライン)」(TM) の公式アカウントとして提供されます。

「LINE (ライン)」(TM) アプリへの登録は、QR コードにより実施する事が可能です。

以上